



なのみ通信

令和7年度 筑前町立東小田小学校 学校通信 2月6日 第12号

自らチャレンジする子どもの育成

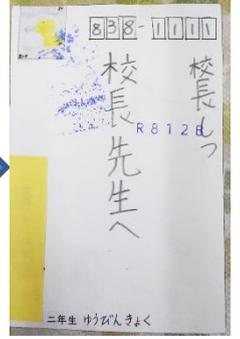
1月27日に、新一年生入学説明会を行いました。保護者の方へ説明している間は、5年生が新一年生のお世話をします。新一年生の手をしっかりとにぎり、時折優しく声をかけながら、校舎内を探検してまわりました。笑顔で一生涯懸命お世話をする子どもたち。頼もしい5年生に育っています。



届けてくれた「私」の気持ち ～ 2年生 ゆうびんきょく(生活科) ～

生活科の学習で、2年生の子どもたちが「2年生 ゆうびんきょく」に取り組みました。子どもたちは「はがき・切手・ポスト・消印・仕分け・配達・お知らせ」の7つのグループに分かれて郵便業務を体験しました。校内のあちこちに置かれたポスト。回収、仕分け、配達する子どもたちは、自分の役割に責任を持ち、生き生きと楽しそうに取り組んでいました。

最近、ハガキや手紙を書いて、他者とやりとりすることが少なくなりました。相手のことを想像しながら、自分の気持ちをハガキに書き、それを届けてくれる2年生配達員さん。互いの気持ちを伝え合う「ゆうびんきょく」の仕事を経験する中で、「だれかの役に立っている」「よこんでくれている」という実感は、働くことの意味を学んでいるのだと思います。また、スマートフォンでのコミュニケーションも含め、ハガキや手紙で気持ちを伝えることは、相手のことを想像すること、感謝や励ましの言葉を伝えることなど、自分や友だちを大切に作る心の育成にもつながります。互いのことを想像し、感謝や励ましの言葉を伝えられる関係が育んでいけたらと思います。



アウトプットする学び ～修学旅行での学びを各学年へ～

平和学習のまとめとして、6年生の子どもたちが修学旅行で学んだことを各学年の子どもたちに伝えています。写真は、2月4日、5年生の教室を訪れ、プレゼンテーションを使って説明している様子です。平和講話をしていただいた方の話や平和フィールドワークで感じたこと、そして、二日間の思い出をそれぞれのグループに分かれて発表しました。修学旅行での学びを振り返り、平和の大切さや楽しかった思い出を伝えることは、平和への思いを深め、仲間の大切さを感じる一助になると感じます。感じ、考えたことを話したり、伝えたりするアウトプットする学びは子どもたちを大きく成長させてくれます。東小田チャレンジも含め、学習したことや取り組んだことをアウトプットする学びを今後も大事にしていきたいと思っています。

さて、6年生の発表を聞いた5年生の子どもたちは、平和の大切さを感じたと同時に1年後の修学旅行に思いを馳せていたようでした。先輩の姿を見て、5年生が育ち、最高学年として学校を引っ張っていかれることを期待します。この後、学年に応じて内容や発表の仕方を変えながら、1年生から4年生にも6年生の学びを伝えていきます。



屋外に「AED」を設置しました!

筑前町生涯学習課の協力により、屋外に「AED」を設置しました。学校には、正面玄関に「AED」が1台ありますが、休日、運動場や体育館を利用されている際、「AED」が必要になった場合、校舎は施錠されているため、利用できません。もし、休日に救急対応として必要になった場合は、ぜひ利用してください。

屋外用「AED」は、中庭側児童玄関付近に設置しています。



三匹の「鯛」

人の心には、三匹の鯛がいるというエピソードがあります。それは、誰の心にも

「ほめられたい」

「認められたい」

「役に立ちたい」



という「たい」がいるというお話です。誰かに認められる、必要とされている感覚は、子どもたちの自己肯定感や自己有用感を育みます。ぜひ、子どもたちの心にいる「三匹の鯛」を成長させてみてください。